記入日	西暦 2020 年 1 月 1 1 日（2019 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	高知県立大方高等学校
実践番号（団体内・年度内の通し番号）	3
タイトル 内容を端的に示し，中身を見たくなるタイトルをつけてください．計画時のタイトルと同じである必要はありません	逃げトレを用いた避難路検証と報告会
実践担当者のお名前	浦田友香　近森美保

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか，選択肢から**該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す**	ほぼ 0 円
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度，1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間　**該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す**	1 週間
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2019 年 7 月～ 2 月
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください． 例：2 時間×2 日＝4 時間	２０時間
実践の運営側で動いた人の人数	２０人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 **該当しないものを削除し該当するものを残す（複数可）**	高校生・地域住民
防災教育の対象者の人数	約２００人
実践を行った都道府県と市区町村	高知県　黒潮町
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	黒潮町芝・早咲・入野本村・新町地区
★実践に必要だった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	「逃げトレ」アプリ

<table>
<tr><td>達成目標
社会的地域的時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください</td><td colspan="2">・新しい道路の開通により緊急時の避難に不安が生まれた地区住民の方と一緒に、逃げトレを用いた避難路検証を行い、避難の課題を知る。
・高校生が呼びかけを行うことで地区住民の防災活動を活性化させる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">どの力を身につけようとしましたか？
該当しないものを削除し該当するものを１つ残す</td><td>知識・技能</td><td>かなり</td></tr>
<tr><td>思考力・判断力・表現力</td><td>大いに</td></tr>
<tr><td>学びに向かう力・人間性</td><td>大いに</td></tr>
<tr><td>実践内容・方法
これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください
適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</td><td colspan="2">①　事前準備
・検証する避難路や避難方法のパターン(車いすで、自動車で・歩いてなど)を決定し、グループに分かれる。
②　逃げトレ訓練
・各地点から同時に避難訓練を開始し、「逃げトレ」アプリを用いて安全に避難できるかどうか検証する。
③　報告会
・後日、地区住民の方に集まっていただき、避難検証の結果と安全に避難するために何が必要か(例えば、途中のブロック塀の撤去、手ぶらで避難するための工夫、家具固定など)ということについて高校生が提案する。
 </td></tr>
<tr><td>得られた成果
どのようなチャレンジをし，その結果何が得られたかを書いてください</td><td colspan="2">・自動車で避難、車いすで避難、いつも横になっているベッドから玄関先まで、など様々な避難検証を行うことができ、個別の不安にアプローチすることができた。
・地域住民の生の声を高校生が直接聞くことで、生徒の地域の防災に対する関心や活動に対する意欲が向上した。</td></tr>
<tr><td>どのくらい身につき</td><td>知識・技能</td><td>かなり</td></tr>
</table>

ましたか？ **該当しないものを削除し該当するものを残す**	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題，苦労した点，工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	・住民の方との連携や当日の段取りなど、京都大学の方や役場の方のご協力のもとに行うことができた。本校の教職員と生徒だけでは実施が困難である。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について **1 つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください**	
関係者の名前・団体名	黒潮町役場情報防災課
関係者の説明	
関係者の連絡先	
★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について **1 つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください**	
関係者の名前・団体名	杉山高志さん、小西慶哉さん
関係者の説明	京都大学情報学研究科の方
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ **1 つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください**	
伝えたい相手	
伝えたい内容	「逃げトレ」のアプリを用いることで、ただ避難して終わりではなく、避難を検証し、反省し、より良い避難を考えることにつなげていくことができると知りました。これからも避難訓練に何かアイデアをプラスすることで、実践的な訓練ができるということを学びました。

ここまで，実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には，ここまでの 5 つの表をコピーして記入してください